

豊かな海をめざして～藻場造成の取り組みへの支援について～

南伊勢町の水産業～伊勢志摩国立公園を食材で支える～



伊勢海老、マグロ養殖、鯛養殖、アワビ、アオサなど、
三重県下一の水揚げ量を誇る港がある町

南伊勢町の水産業を抱える課題

漁業者の減少、日々獲れる魚の減少や魚種の変化、潮の流れの変化、
藻場の減少、海に捨てられるゴミ問題や、未利用魚の活用、原料の
高騰など チームTRITON南伊勢 海の未来を考えるワークショップより

現在取り組んでいる取り組み ※赤字は企業版ふるさと納税募集事業

- ・ 稼げる水産業・担い手づくりスタートアップ事業（漁師塾、一次産業後継者育成支援事業補助金、海の未来を考えるワークショップ、水産業スマート化推進など）
- ・ 水産資源管理の取り組み（藻場造成＋ブルーカーボンオフセットの取り組み）

藻場造成を必要とする理由

- ・ ひじき場や藻場の再生による魚類、貝類など多様な資源確保
- ・ 御食国である伊勢志摩の食の維持（伊勢海老、アワビ）
- ・ 海洋植物資源による二酸化炭素吸収
- ・ 水産業の町である町の産業の維持

地方創生SDGsを通じて御社に期待すること

- ・ 企業版ふるさと納税やブルーカーボンオフセット購入による藻場造成に対するご支援
- ・ ごみ拾いなどの環境保全＋カヤック、テントキャンプなど体験利用を通じた地域貢献
- ・ その他（意見交換のなかでご相談できれば。）

その他

全国豊かな海づくり大会 令和7年 海上歓迎・放流行事を南伊勢町で開催。豊かな海づくり大会を契機に水産業の持続的な発展と豊かな海が次世代へ引き継がれるよう取り組んでいきます。